２０１8年１学期

**現代日本社会の争点**

**-超国的移動と市民権-**

教授：韓榮惠(ハン・ヨンヘ)

E-mail : [younghae@snu.ac.kr](mailto:younghae@snu.ac.kr)

Office : Room 510, Bldg. 140-102

**Week1 (3/8) : 講義の趣旨と概要の説明**

**Week2 (3/15)**

＜座談会＞「なぜ今、移民問題か」『別冊　環⑳　なぜ今、移民問題か』,2014,藤原書店,

pp.4-45

**Week3 (3/22)**

李洙任・田中宏,2007,『グローバル時代の日本社会と国籍』明石書店、

「第2章　日本国憲法と在日外国人」, pp56-63

「第5章　植民地統治を支えた国籍」, pp102-125

「第6章　特別永住外国人の国籍取得問題」, pp132-146

**Week4 (3/29)**

近藤敦「外国人の権利と市民権」『別冊　環⑳　なぜ今、移民問題か』,2014,藤原書店,280-287

明石純一「日本の入管法制の歴史的展開と現在」『別冊　環⑳　なぜ今、移民問題か』,292-297

水上洋一郎「新しい在留管理制度とは何か」『別冊　環⑳　なぜ今、移民問題か』,298-302

**Week5 (4/ 5)**

田中　宏(編),2002,『在日コリアン権利宣言』岩波ブックレットNO.566,岩波書店

**Week6 (4/12)**

佐久間孝正,2006,『外国人の子どもの不就学』,勁草書房．

　「序章　近年の外国人の動向と試行錯誤の教育界」,1-30

「Ⅲ章　ニューカマーはオールドカマーの道をたどるのか」,101-136

「Ⅴ章　教育システムの改革に向けて」,177-208

**Week7 (4/19)**

南誠,2016,『中国帰国者をめぐる包摂と排除の歴史社会学』,明石書店

「第2章不完全な国民統合」,75-99

「第4章　忘却と想起の痕跡」,140-166

「第6章　境界の集合的構築」,196-217

**Week8 (4/26)**

山本かほり,2007,「デカセギから定住へ―ある日系ブラジル人の生活史より,」村井忠政(編著)『トランスナショナル・アイデンティティと多文化共生―グローバル時代の日系人』,明石書店,303-330

二宮正人「日系ブラジル移民の歴史と現在」『別冊　環⑳　なぜ今、移民問題か』,341-347

**Week9 (5/3)**

鍾家新,2017,『在日華僑華人の現代社会学―越境者たちのライフ・ヒストリー』,ミネルヴァ書房

「 終章 在日華僑華人問題の本質」,237-266

趙衛国「中国系ニューカマーの現在」『別冊　環⑳　なぜ今、移民問題か』,118-125

坪田美欧子「留学、就労、定住、再移動へのまなざしの変容―在日中国人の今後」『別冊　環⑳　なぜ今、移民問題か』,264-271

**Week10 (5/10)**

高谷　幸「現代日本におけるジェンダー構造と国際結婚女性のシティズンシップ」, 安里和晃(編),『国際移動と親密圏―ケア・結婚・セクス』,京都大学学術出版会, 2018, 49-78．

原めぐみ「親密性の労働を担う「JFC」」,『国際移動と親密圏―ケア・結婚・セクス』,159-191

**Week11 (5/17)**

鍾家新,『在日華僑華人の現代社会学―越境者たちのライフ・ヒストリー』

(第4章)「異国における老いと死の受容」,191-236

梁愛舜,「在日朝鮮人と名前−新しい世代のアンケート調査と墓碑銘の調査を中心に」,立命館大学우리同窓会(編）『玄海灘』第７号（２０１２）、 pp378-395

**Week12 (5/24)**

宮島　喬「移民政策の現在と未来」『別冊　環⑳　なぜ今、移民問題か』,46-56

藤巻秀樹「移民と創る豊かな日本」『別冊　環⑳　なぜ今、移民問題か』,57-69

鈴木江里子「人口政策としての外国人政策」」『別冊　環⑳　なぜ今、移民問題か』,70-86

**Week13 (5/31)**

近藤　敦「ヘイトスピーチ規制の課題と展望」『移民政策研究』vol.9,2017,5-20

樽本英樹「英国における多文化市民権と排外主義―ヘイトスピーチ規制に着目して」『移民政策研究』vol.9,2017,21-36

山本かほり「排外主義の中の朝鮮学校」『移民政策研究』vol.9,2017,38-56

**Week14 (6/7) 学生発表・討論**

**Week15 (6/14)　学生発表・討論・総括**